

## 【抗議声明】

2022年4月15日

核戦争に反対する医師の会（反核医師の会）

### アメリカ政府による2度にわたる臨界前核実験に抗議する

アメリカのバイデン政権が、昨年6月22日と9月16日の2回にわたって西ネバダ州において、臨界前核実験を行っていたことが、明らかとなった。

2020年11月、トランプ政権時代に実施された臨界前核実験に続くもので、今回の2回と合わせて、核兵器の近代化を目的とした実験といわれている。

ロシアによるウクライナ侵略に併せて核兵器による威嚇が行われ、世界は現実的な核戦争の危機に瀕している。そうした状況の下で核兵器の近代化、開発をさらに推し進めようとすることは断じて許すことが出来ない。

2021年1月22日に被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める世界の人々の長年の運動によって核兵器禁止条約が発効し、核兵器の実験、保有から使用と威嚇に至るまで国際条約上違法とされた。今回のアメリカ政府の度重なる臨界前核実験は、核兵器禁止を求める世界の人々の願いに背くものであり、怒りをこめて抗議する。

ロシアのプーチン大統領による核兵器先制使用の威嚇は、核兵器による「抑止力」が平和を守るという「核抑止力」論の破たんを示している。その一方で、アメリカによる臨界前核実験による核兵器の近代化は、あらたな核軍拡を呼び起すものとなり、核兵器廃絶を目指す国際世論に反するものである。アメリカ政府は、ただちに核兵器の近代化計画を中止し、核兵器の廃絶に向けて努力すべきである。

私たちは、命と健康を守る医師・歯科医師として、世界のすべての国が核兵器禁止条約に参加し、1日も早く核兵器廃絶を実現することを強く望むものである。